

# かほだより

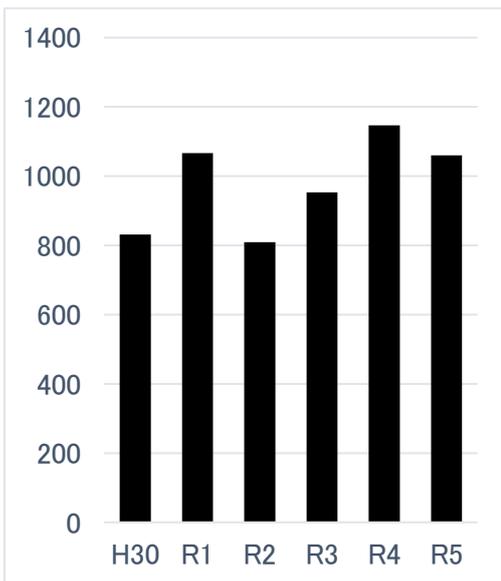
R6-1号  
R6. 4. 4

長野県伊那家畜保健衛生所  
TEL: 0265-72-2782,  
Fax: 0265-72-2765  
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp  
所在地: 伊那市西町 5764  
伊那諏訪家畜畜産物衛生指導協会  
TEL&FAX: 0265-76-8086

## 牛のヨーネ病定期検査にご協力をお願いします

慢性進行性の下痢を呈する家畜伝染病のヨーネ病は、全国的に感染牛が確認されています。県内では、令和4年に7頭、令和5年に17頭が摘発されました。本病の定期検査は乳用牛で2年毎、肉用繁殖牛で4年毎の実施が義務づけられています。令和6年度のヨーネ病定期検査の日程は下記のとおりです。対象の農場には、あらかじめ検査日程を通知しますのでご協力をお願いします。

### 全国のヨーネ病発生頭数



区域		採血日	戸	区域	採血日	戸	
南箕輪村	南原区以外	4月16日(火)	1	諏訪市	全域	10月7日(月)	3
		4月23日(火)	2				
		6月24日(月)	2	富士見町	立沢乙事境	6月10日(月)	1
5月13日(月)	2	10月8日(火)	2				
6月17日(月)	1	10月15日(火)	2				
箕輪町	箕輪 東箕輪	5月13日(月)	2	原村	全域	10月21日(月)	1
辰野町	全域	5月14日(火)	2			10月22日(火)	1
伊那市	西箕輪 西春近 以外	4月22日(月)	1	<家畜畜産物衛生指導協会> 書記	日野		
		5月20日(月)	2				
		5月21日(火)	3				
		5月27日(月)	2				
		5月28日(火)	1				
		6月3日(月)	2				
		6月4日(火)	1				
		7月1日(月)	1				
10月28日(月)	1						

## 令和6年度 伊那家畜保健衛生所の新たな体制がスタート!

### 所長 矢彦沢 小百合☆

口蹄疫は、日本の周辺国で発生が散発しており、国内に侵入するリスクが高い状態です。飼養衛生管理基準を遵守し、家畜伝染病の防疫対策の維持・強化をお願いします。

保健衛生課		防疫課	
課長	中島☆	課長	宮本☆
主任	佐藤	主査	青山
主任	松下☆	獣医師	藤本
獣医師	木次☆	<家畜畜産物衛生指導協会> 書記 日野	
主事	向山		

牛群ドック、乳質改善、慢性疾病対策、繁殖性向上対策などを通じて、生産性向上を支援します。

各種検査や病性鑑定などを通じて、家畜伝染病の発生予防と、衛生管理の向上を支援します。

☆:R6 年度転入職員

## 定期報告の提出ありがとうございました

定期報告を既に提出していただいた皆様、ありがとうございました。

- 令和7年2月の定期報告から手続きが電子化されます。
- スマホ・パソコンから報告ができますのでぜひご利用ください。

＜電子化によるメリット＞

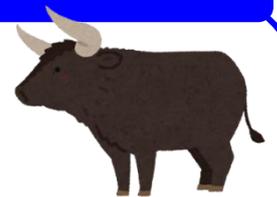
- インターネット環境があれば、どこからでも提出できます。
- 過去の履歴を引用して報告書の作成ができます。
- 報告したデータに基づき、それぞれの農場にあった飼養衛生管理等の指導が受けられます。



## 牛伝染性リンパ腫(EBL)検査について

＜市場上場牛について＞

- ・6ヶ月齢以上から抗体検査が可能です(検査手数料 840 円/頭)
- ・6ヶ月齢未満は遺伝子検査となります(検査手数料 1600 円/頭)



・市場に上場する牛の抗体検査は概ね2週間前までにご依頼ください。  
(遺伝子検査は別途ご相談ください)

＜浸潤状況調査について＞

- ・ヨーネ病の定期検査に併せて牛群の浸潤状況調査(全頭検査)が可能です。
- ・全頭検査を実施すると検査手数料 840 円/頭→420 円/頭となります(衛指協補助)。
- ・今年度ヨーネ病定期検査の対象外でも随時対応しますので、ご相談ください。

お問合せ : 伊那家畜保健衛生所 防疫課 ☎(0265)72-2782

## 放牧の時期となりました。放牧準備をお願いします

### 1 放牧馴致

放牧馴致は第1胃内微生物を早く牧草に適応させ、発育遅延を防ぎます。  
また放牧初期のストレスを減らし、病気の予防にも効果があります。

＜放牧馴致のポイント＞

- ① 飼料:粗飼料主体の飼料に切り替える(2週間前から青草(生草)を給与)
- ② 環境:パドックに放飼又は舎外に繋ぐ(2週間前まで日中のみ。以後昼夜)
- ③ 管理:育成牛は群飼で管理し、集団行動に慣らす

### 2 ピロプラズマ症検査

担当の診療獣医師に採血を依頼し、家保での事前検査をお願いします。

### 3 ワクチン接種

所定のワクチンについて入牧の1か月前には接種してください。

### 4 その他

削蹄、寄生虫の駆虫、皮膚病の治療も忘れずに実施しましょう。